

第17回

無人島学校

むじんとうがっこう

一週間自給自足生活挑戦

【日 時】 2023年8月13日(日)～20日(日) 7泊8日

【行き先】 松島(兵庫県立いえしま自然体験センター管理:姫路市家島町西島)
※兵庫県立いえしま自然体験センター(旧母と子の島)の南約4kmの位置にあり、姫路港から直行の船で40分～1時間程度かかります。直径3kmの無人島です。
電気、水道、建物はありません。
※宿泊はソロテントを使用し、チームごとに同じ場所にテントを立てます。
またファシリテータースタッフ、メンタースタッフが生活をともにします。
※トイレは簡易水洗です。水洗用の水はバケツを使ってため池から自分で汲みます。
※お風呂はありません。海で汗を流したり、生活用の水で濡らしたタオルで体を拭く程度です。

【10の掟】 無人島学校10の掟を守れば、自由に生活できる一週間。

【無人島学校10の掟】

- ① 島には電気・水道・建物はない。持ち込む食料は米、調味料のみ、持ち込み電気機器は懐中電灯のみ。
- ② 水は各チームが働きによって手に入れた「オーシャン」によって入手可能。
- ③ 火おこしはファイヤースターターを使用する。
- ④ 採った食料、作った食事は残すべからず。作り置き、弁当は許されない。(最終日昼食をのぞく)
- ⑤ 無人島では絶対に一人で行動しない。海に入る時は原則としてライフジャケットを着用し、「ガード」の前でのみ入水。
- ⑥ 役割や順番を決めるときに、じゃんけんや多数決を使わず話し合いで決める。
- ⑦ 決められたプログラムはなく1日の過ごし方は自由、時計も不要。ただし、必ず3食食べること。
- ⑧ 緊急用食料として鶏が同行する。7日目まで食さなかった場合は全員参加の「イノチの話合い」で鶏をどうするか決める。
- ⑨ 夜は「カタライの灯」に想いをしたためる。
- ⑩ リタイア以外、最終日まで帰ることはできない。最終日まで生き続けた者は「オーシャントロフィー」を手に入れる。

【無人島で行うこと】

■食事づくり

全食自炊です。ファイヤースターターを使用し、火を起こして作ります。

■食材集め

個々で持参するお米、調味料類、また無人島初日昼食以外の食材は海の恵みに頼ります。釣りや貝の採取を行います。

■鶏について

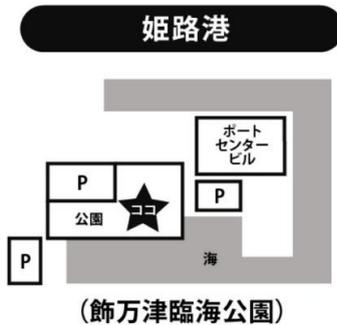
緊急用の食材として持ち込みます。食べるか食べないかを全員で話し合い、「イノチ」について考えます。全員合意の上で食べることに決まった場合は、希望者のみで調理を行います。

■カタライの灯

每晚海岸に全員が集合し、その日の自分の行動や人との関わり、グループでの役割について振り返ります。そして明日自分がチャレンジすることを全員の前で話します。

- 【集合・解散】** 姫路港・姫路駅・名古屋駅 の3か所で集合します。
 姫路駅・名古屋駅集合の方は、スタッフが姫路港まで送迎します。
 （姫路駅集合の方は、合流です。）
 ※船の出航をお見送りいただける方は、ぜひ姫路港までお越しください。

姫路港集合・解散



■集合 8月13日(日) 9:30

- ※9:15より受付を開始します。集合後、荷物を船に積み込みます。
- ※夏休みのため、駐車場が混み合う場合があります。お車でお越しの方は、時間に余裕をもってお越しください。

■解散 8月20日(日) 15:15

- ※13:30に松島を出発し、船到着は姫路港に14:15を予定しています。
- その後、解散場所にて解散式を行います。
- ※姫路港までお迎えに来られる方は、ぜひ船の到着時間にお越しください。
- ※天候や参加者の様子によって到着時間が変更になる可能性があります。その場合は「第17回無人島学校連絡用LINE」でお知らせいたします。

姫路駅集合・解散



■集合 8月13日(日) 9:00

- ※合流となります。名古屋駅集合のスタッフが8:47姫路駅着の新幹線で向かいますので、集合場所でお待ちください。
- ※集合後、スタッフと名古屋駅集合の子どもたちとともに、路線バスにて姫路港へ向かいます。
- ※トイレを済ませてから集合してください。

■解散 8月20日(日) 16:00

- ※姫路港で解散後、路線バスで姫路駅へ向かいます。
- ※天候や参加者の様子によって到着時間が変更になる可能性があります。その場合は「第17回無人島学校連絡用LINE」でお知らせいたします。

名古屋駅集合・解散



■集合 8月13日(日) 6:50

- ※6:30より受付を開始します。集合後、スタッフとともに新幹線にて姫路駅まで向かいます。
- ※新幹線のチケットを購入した状態で集合してください。
 (名古屋⇄姫路の往復切符、自由席)
- ※トイレを済ませてから集合してください。

■解散 8月20日(日) 19:40

- ※姫路港で解散後、路線バスで姫路駅へ向かい、お風呂に入り新幹線にて名古屋へ向かいます。(19:19名古屋駅着予定)
- ※天候や参加者の様子によって到着時間が変更になる可能性があります。その場合は「第17回無人島学校連絡用LINE」でお知らせいたします。

- 【持ち物】** ワークブックの21~23ページをご覧ください。
 事前セミナーⅡで、詳しくご説明します。ご質問がある方は事務局までご連絡ください。

【引率】 特定非営利活動法人 生涯学習サポート兵庫スタッフ、株式会社 EDUCAMP スタッフ
及びボランティアスタッフ

校長 山崎 清治 (やまさん)

2003年にNPO法人生涯学習サポート兵庫を設立。無人島学校やリアカー縦断の旅など様々な体験学習プログラムをプロデュース。2017年には廃止された公設野外教育施設を購入し、「神戸三田アウトドアビレッジ TEMIL」としてリノベーション運営を開始。また、講演講師・研修ファシリテーターとしても年間200本以上登壇し続けている。2022年、JAPAN OUTDOOR LEADERS AWARD 2022「優秀賞」受賞。

副校長 曾雌 竜太 (そっしー)

株式会社 EDUCAMP 代表。名古屋を拠点として幼児期からの様々な冒険教育・体験学習を通じて、子どもたちの「生きる力」を育むプログラムを実施。高校時代に自身がサッカーでインターハイに出場した経験から、スポーツ分野でのチームビルディングやメンタルコーチングも行う。子どもたちが困難にくじけず自分の力で歩いていけるように、失敗から立ち直る力を育むことを大切にしている。

コーチングスタッフ：3名

事前・事後のコーチングを実施します。無人島学校本番にも同行し、無人島生活が体験だけではなく、一人ひとりのまなびにつながるようサポートします。

プログラムスタッフ (社会人、大学生ボランティア)：6名

子どもたちの安全管理や健康管理、プログラムのサポートをします。

ファシリテーター (大学生ボランティア)：9名

各チームに入り、安全確保に努め、子どもたちと同じ目線で一週間の生活を共にします。事前に立てた目標を達成するため、チームのファシリテーター役としてサポートします。

メンター (高校生ボランティア)：8名

各チームに入り、安全確保に努め、子どもたちと同じ目線で一週間の生活を共にします。子どもたちと様々な気持ちを共感し、対話を行うことで、子どもたちを元気づけ、成長を促し、心の拠り所となる存在です。

※コーチングスタッフ、プログラムスタッフ

ファシリテーター、メンターは、

職員による面接試験、研修を受講しています。



スタッフ一覧はこちら

【事故・保険】 プログラム中の参加者の事故に関しては、できうる限りの処置を行い、必要な場合はいえしま自然体験センターに連絡、または坊勢渡船を利用して医療機関への搬送を行い、保護者にご連絡いたします。また、参加者は国内旅行傷害保険に加入しております。

傷害死亡 600万・傷害後遺傷害 600万 (後遺傷害の程度に応じて4%~100%支払)

入院保険金日額 3,000円・通院保険金 2,000円

補償内容に不安のある方は、各自で別途保険にご加入ください。ご自身で保険に加入される場合は、必ず事前に補償内容・適応条件に等をご確認ください。

【健康管理】 キャンプ中の健康管理は本人と指導員とで行います。参加者情報フォーム、健康調査カードは、参加者の健康状態などを把握する大切なものになりますので、できるだけ詳しくご記入ください。

【緊急連絡】 プログラム中の保護者の方からの連絡については、緊急時以外はご遠慮願います。

●生涯学習サポート兵庫 事務局 (079-230-0661)

※営業時間外は、事務局担当者に転送されます。

【主催】 特定非営利活動法人 生涯学習サポート兵庫 (SHOSAPO)

【共催】 株式会社 EDUCAMP (愛知県名古屋市)

【後援】 兵庫県、兵庫県教育委員会、兵庫県青少年本部、兵庫県青少年団体連絡協議会、姫路市
姫路市教育委員会、明石市教育委員会、神戸新聞社、加古川市教育委員会

【協力】 兵庫県立いえしま自然体験センター

無人島学校 ワークブックについて

【宿題について】

ワークブックの「宿題」は、子どもたちが無人島へ行くための準備です。

保護者の方の準備やフォローも子どもたちには必要です。どうぞよろしくお願いいたします。

わかりにくいところは、動画で説明をしています。

無人島学校 HP もしくは右の QR コードを読み取っていただくと、

動画をご覧いただけます。

※体験する必要はありませんが、事前に見ていただきたい動画もあります。

必ず動画を見て、無人島学校本番に挑んでください。



参考動画 QR コード

事前セミナーについて

事前セミナーは、無人島学校のねらいを子どもたちと共有する大切な時間です。必ずご参加ください。

事前セミナーⅡは親子参加です。親子で無人島学校について共有していただきたいと思います。

■事前セミナーⅠ (オンライン) ※お子さまのみの参加

【日時】 ①2023年7月29日(土) 11:00~12:00

②2023年7月30日(日) 11:00~12:00

※どちらも同じ内容です。どちらかにご参加ください。

参加日程に変更がある場合は、事務局までご連絡ください。

【準備物】 参加要項、ワークブック、筆記用具

【プログラム予定】 無人島へ行く意味・アクションプラン (行動計画)・ワークブックへの書き込み

※ZoomのURL、パスワード等は 7/25 (火) にお送りします。

■事前セミナーⅡ (オンライン) ※親子参加

【日時】 ①2023年7月29日(土) 13:00~14:30

②2023年7月30日(日) 13:00~14:30

※どちらも同じ内容です。どちらかにご参加ください。

参加日程に変更がある場合は、事務局までご連絡ください。

【準備物】 参加要項、ワークブック、筆記用具

【プログラム予定】 本番までの流れと準備・参加要項の説明・ワークブックの説明・持ち物の説明

※ZoomのURL、パスワード等は 7/25 (火) にお送りします。

チャレンジャー1on1 コーチングについて

無人島学校を体験だけで終わらせるのではなく、目標設定、振り返りをして、無人島学校で感じたことや学んだことを普通の生活にいかし、次のチャレンジに繋げていくことが大切です。
チャレンジャー1on1 コーチングでは、コーチングスタッフが4か月間（1ヶ月に1回）個別でサポートをしていきます。

■チャレンジャー1on1 コーチング

- 【日 程】** 8月、9月、10月、11月（1ヶ月に1回、計4回）
※日程調整は別途お送りします。
- 【場 所】** オンライン（Zoom）
※URLなども、日程調整の際にお知らせします。
- 【準備物】** ワークブック、筆記用具
- 【内 容】** 8月 無人島でどんなことを達成したいか、なりたい自分
9月 無人島で学んだこと、気づいた課題
10月 これから目指したいこと
11月 これから自分が実現したいこと・行動計画

無人島学校 修了式について

すべてのコーチングが終了したあとに、無人島学校の修了式を開催します。無人島でともに生活をした仲間たちと久しぶりに再会できる場となります。ぜひご予約を空けてお待ちください。参加の可否については、無人島生活終了後に聞き取りを行います。

- 【日 程】** 2023年12月9日（土）9:00～10:00
【場 所】 オンライン（Zoom）
【内 容】 お楽しみに！

無人島学校 気になるQ&A

無人島学校のプログラムに関する疑問、松島の情報などをQ&A方式で記入しています。
その他の疑問・質問はご遠慮なくお問い合わせください。

++++
++++

Q：荷物を入れるかばんは、どのようなものがいいですか？

⇒A：リュック式のもので、スポーツバッグでもOK。かばんが2つ以上になることは構いませんが、自分で持てることが必須です。なお、キャリーバッグは無人島には適しません。

Q：松島にはお風呂はあるの？

⇒A：お風呂はありません。海で汗を流したり、少量の水で濡らしたタオルで身体を拭く程度となります。また、必要に応じて団体より持参する、無添加のせっけんシャンプーを使用します。

Q：食事はどうするの？

⇒A：全食自炊です。米と調味料以外の食材は、海の恵みに頼ります。釣りややすで魚を捕まえたり、貝の採取を行います。

Q：非常食は必要ですか？

⇒A：必要ありません。調理を失敗し、予定より少量しか食べられないといった場面も考えられますが、失敗することによって気づくこともあります。その場合非常食は、失敗に気づくことの妨げになります。

Q：調味料はどんなものが用意されていますか？

⇒A：塩、しょうゆ、みりん、砂糖、料理酒、みそです。

Q：水道がないということですが、水はどうするの？

⇒A：子どもたちの安全を最優先に考えているので、持参する水以外に、水は1日3リットル程度支給できるように準備します。ただ無制限に支給するのではなく、生きていくために必要不可欠なものとして大切に扱うように計画し支給します。

Q：釣り道具はどうすればいいの？

⇒A：親子で相談して、必要だと思えば持参してください。ベラ、ガシラ、アイナメ、キス、カワハギなどが釣れるので、仕掛けを用意するときは参考にしてください。エサは島内の貝などを使用します。疑似餌の使用は可能です。管理は自分で行っていただきます。

Q：やすの使用をしたことがないのですが、使い方は教えてもらえますか？

⇒A：非常に危険な道具であるため、無人島に到着してから使い方の指導を行います。その指導を受けた人は使用できます。やすは団体から持参します。

Q：ノコギリや鉋（なた）は持参してもいいですか？

⇒A：必要ありません。

Q：うちの子泳げないんだけど…（泳力について）

⇒A：まったく泳げなくても、無人島学校への参加は可能です。対象にもあるようにライフジャケット、浮き輪を使ってもいいので25m泳ぐことができればOK。海に入る際には全員ライフジャケットを着用します。

Q：足ひれ（フィン）は持って行ってもいいですか？

⇒A：必要ありません。

Q：時計は持っていてもいいの？

⇒A：無人島学校では時計を外して生活するので、必要ありません。

Q：蚊がたくさんいるって聞きました。

⇒A：やぶ蚊がたくさんいます。薄手の長袖・長ズボンで対応する必要があります。虫除けスプレーなどの持参も可能です。ただし、蚊取り線香など火を使うものは、無人島では使用できません。またかゆみ止めの塗り薬は、クラゲに刺された時にも効果のあるものが便利です。

Q：もし台風がきたらどうするの？

⇒A：安否確認のため、いえしま自然体験センターと定期連絡を取り、天気の情報聞きながら対応します。台風が来ることが予想されれば、事前にセンターに避難、あるいはプログラムを中止する場合があります。

Q：トイレにトイレットペーパーはありますか？

⇒A：トイレットペーパーは使用できます。トイレ内のペーパーがなくなっていれば、気づいたチームが備え付けをします。

Q：緊急時の対応は？

⇒A：無人島にも救急用品を持参しますので、無人島で対応できるケガであれば無人島で処置をします。病院に受診をする場合は、海上タクシーで近くの坊勢島の病院へ搬送します。さらに緊急の場合は、海上タクシーでいえしま自然体験センターまで搬送後、ドクターヘリで本島の病院まで搬送します。

生涯学習サポート兵庫 個人情報の取り扱いについて

特定非営利活動法人 生涯学習サポート兵庫は、「無人島学校 一週間自給自足生活挑戦」実施にあたり個人情報の取り扱いについて以下のように取り扱います。

●人物の写った写真等の取り扱いについて

- ① 活動中に撮影した全ての写真等について、その著作権は当団体に帰属します。当団体の活動記録及び広報活動を目的としてブログ、SNS（Instagram、YouTube 等）、ホームページへの公開、印刷資料などで使用します。
- ② 被写体となる個人の肖像権を侵害することのないように、撮影された写真等について同意を得ることとします。本人または保護者から拒否の申し出があった場合は、パスワードを設けたホームページ内での公開にとどめ、不特定多数の人が情報を取得できるホームページには公開しないこととします。但し集合写真および個人が特定できない写真等についてはこの限りではありません。

※上記に関し申し出がない場合は、同意されたものといたします。

●名簿の取り扱いについて

個人情報の利用は、問い合わせ・申し込み者に対する情報提供、および当該事業の円滑な運営を目的とします。また、当該事業終了後も管理する個人情報に基づき関連事業等の案内を継続的に行う場合があります。ただし、本人およびその保護者から送付拒否の申し出があった場合は、速やかに名簿から当該個人情報を削除します。

無人島学校公式Instagram

https://www.instagram.com/_mujinto/

*Instagramにて、無人島学校についてお知らせしています。
プログラム中は子どもたちの様子や進行具合、ライブ配信なども更新されますので、ぜひフォローしていただき、最新の情報をご覧ください！
右のQRコードよりご覧ください。

